



## 野田喜産業株式会社（鋼材卸及び加工業）

### 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
野田 幹仁

### 船橋発 土木鉄工で協業先とのハブ拠点を目指す

近年大型化・複雑化する首都圏インフラ需要に対し、業界のハブ拠点として、近隣船橋の協力先(同業他社含む)との協業を通じて量・質ともに応えていきます。働く人たちに多くの研鑽の機会、やりがい、見合う対価を提供し、環境と仕組み両面でここで働きたいと思われる場をつくっていきます。



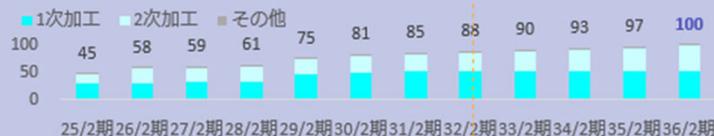
鉄道高架化工事のクレーン架台

- 本社所在地：・・・東京都墨田区
- 事業概要：・・・主に大手ゼネコン土木分野への鋼材加工や素材全般ボルト・建材品を販売。分野は鉄道道路・ビルの再開発向け
- 常時使用する従業員：・・・26名  
(2025年2月時点)
- 現在の売上高：45.2億円  
(2025年2月期)
- 法人番号：9010601014777
- Web：https://www.nodaki.co.jp

### 売上高100億円実現の目標と課題

#### 実現目標

2036年の売上高達成に向け、加工規模拡大、機会損失取込みと生産性改善により年率7～8%程度の成長を目指す。



#### 課題

- ・単独工場のスペース不足及び業界での大口案件の増加を受け、量(1次加工:切断、孔あけ等)・付加価値(2次加工:溶接等)ともに成長に限界を迎えている。
- ・高付加価値の二次加工案件を担う即戦力の溶接技術者や育成人材が不足している。
- ・橋梁分野等の新たな分野の開拓・深耕が必要である。

### 売上高100億円実現に向けた具体的措置

#### 目指す成長手段

- ・環境の変化に悩む協力先との協業を通じ、大口案件の受注・職人の獲得、橋梁等の新分野開拓を実現する。
- ・工場新設により、“量”を追う拠点と、“付加価値”を追う拠点の2拠点体制を構築する。
- ・“量”を追う拠点では、機械設備の新設と動線の効率性追求、を実現し、加工体制を強化していく。
- ・“付加価値”を追う拠点では、協業先を始め多様なチャネルと自社のデジタル発信で溶接技術者を採用する。育成人材の成長プランを策定し、早期戦略化を図る。

#### 実施体制

- ・社長と5名のメンバーが中心となり、2027年9月までに下記を推進する。
- ✓ 新分野の物件開拓を技術に精通したベテラン人材で実施
- ✓ 溶接人材を確保・育成するための手段の多様化（ポリテクセンター（職業訓練校）、特定技能外国人、溶接を身近に感じてもらうための工場体験等）、動画の発信
- ✓ ノウハウ技術のわかりやすい動画を駆使したマニュアル作成
- ✓ デジタルを活用した技術の情報共有・品質管理・モニタリング体制の構築

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです